

DW178

企業情報を守る モバイル時代の情報漏洩対策

ヴァイエムウェア株式会社

ソリューションビジネス本部

EUC 技術部

スペシャリスト SE 森 秀樹

Make
Your
Mark

Agenda

IT セキュリティと利便性

デバイスのセキュリティはどう守る？

クラウド時代のセキュリティ対策

最後に

Agenda

IT セキュリティと利便性

デバイスのセキュリティはどう守る？

クラウド時代のセキュリティ対策

最後に

IT セキュリティと利便性

セキュリティと利便性はトレードオフの関係でしょうか？



利便性

セキュリティ



ワークスタイル変革へのアプローチ



VMware が考える “Digital Workspace” とは



Agenda

IT セキュリティと利便性

デバイスのセキュリティはどう守る？

クラウド時代のセキュリティ対策

最後に

利用制限によるセキュリティ制御

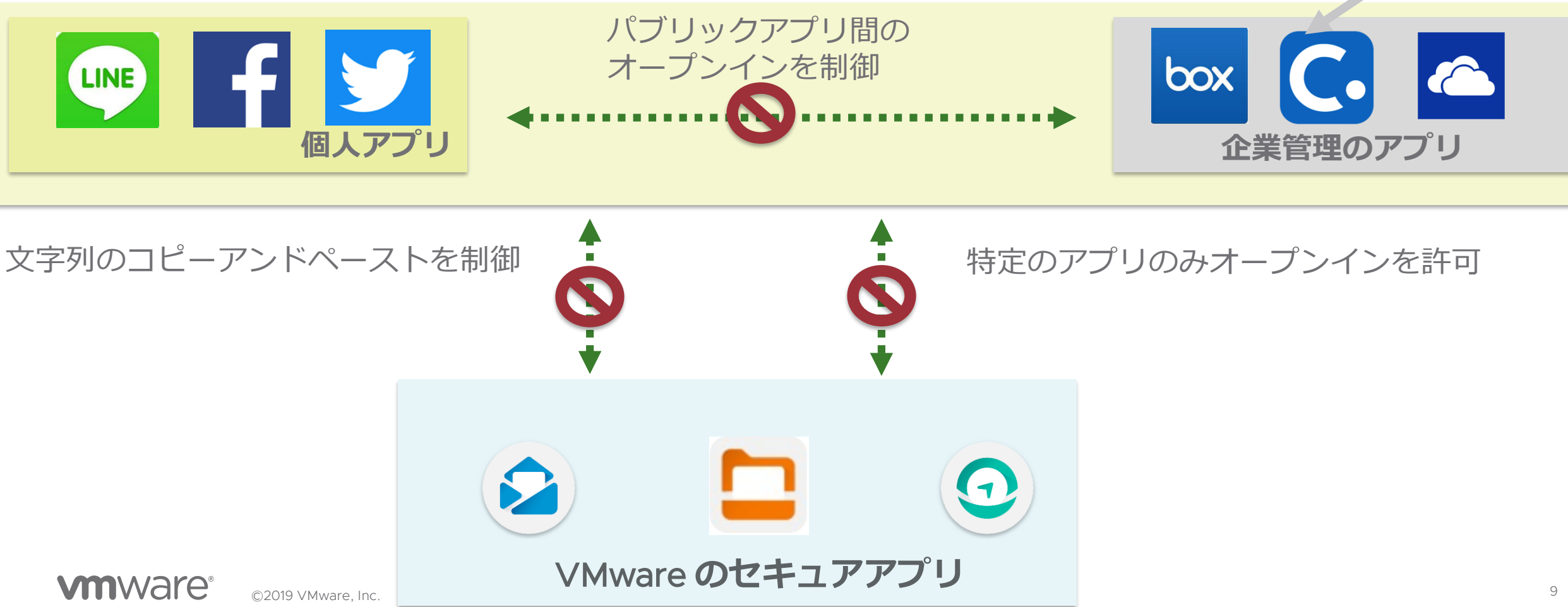


アプリケーション単位でのセキュリティ制御



アプリケーション間のセキュリティ

Workspace ONE UEM によるデータ受け渡し制御



VMware が提供するセキュアブラウザ : Workspace ONE Web

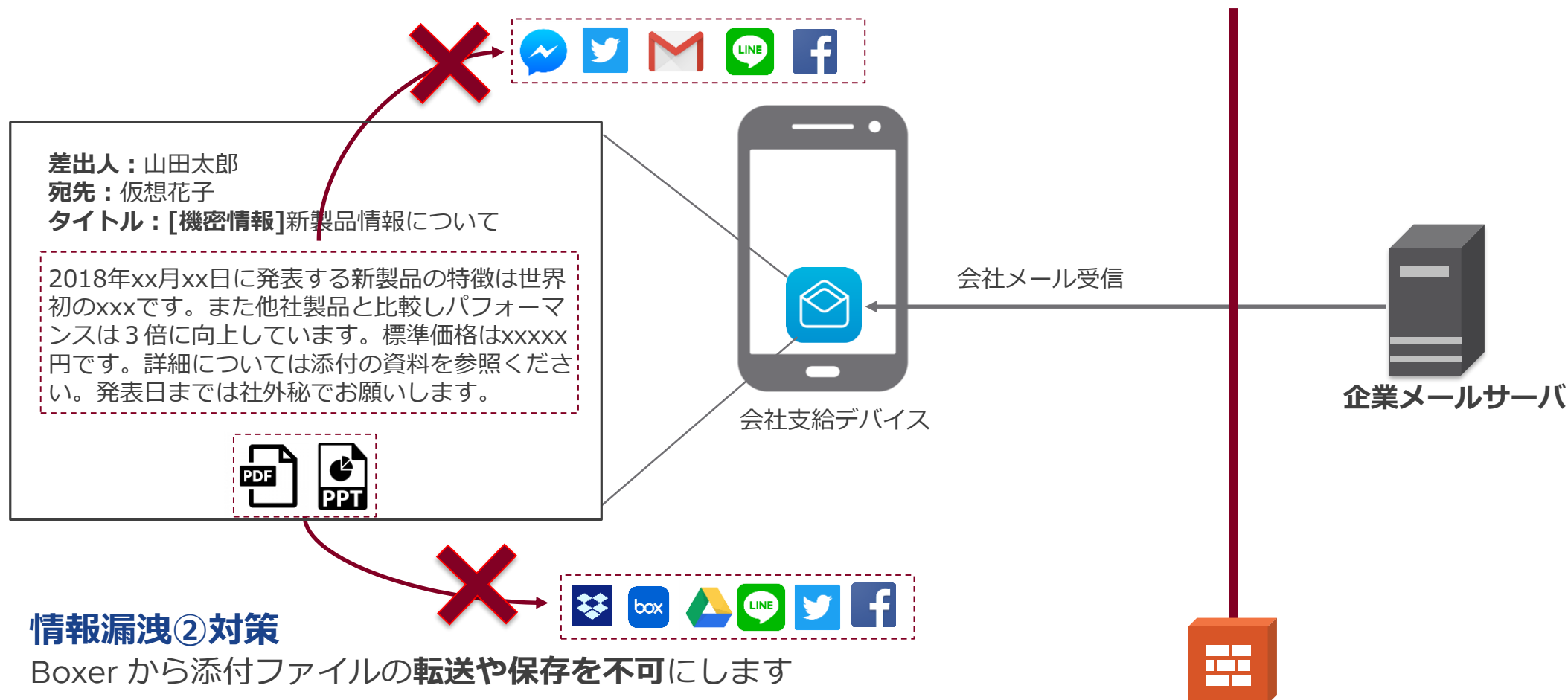
モバイル端末のブラウザアクセスをセキュアに管理



セキュアメーラーVMware Boxer による情報漏洩対策

情報漏洩①対策

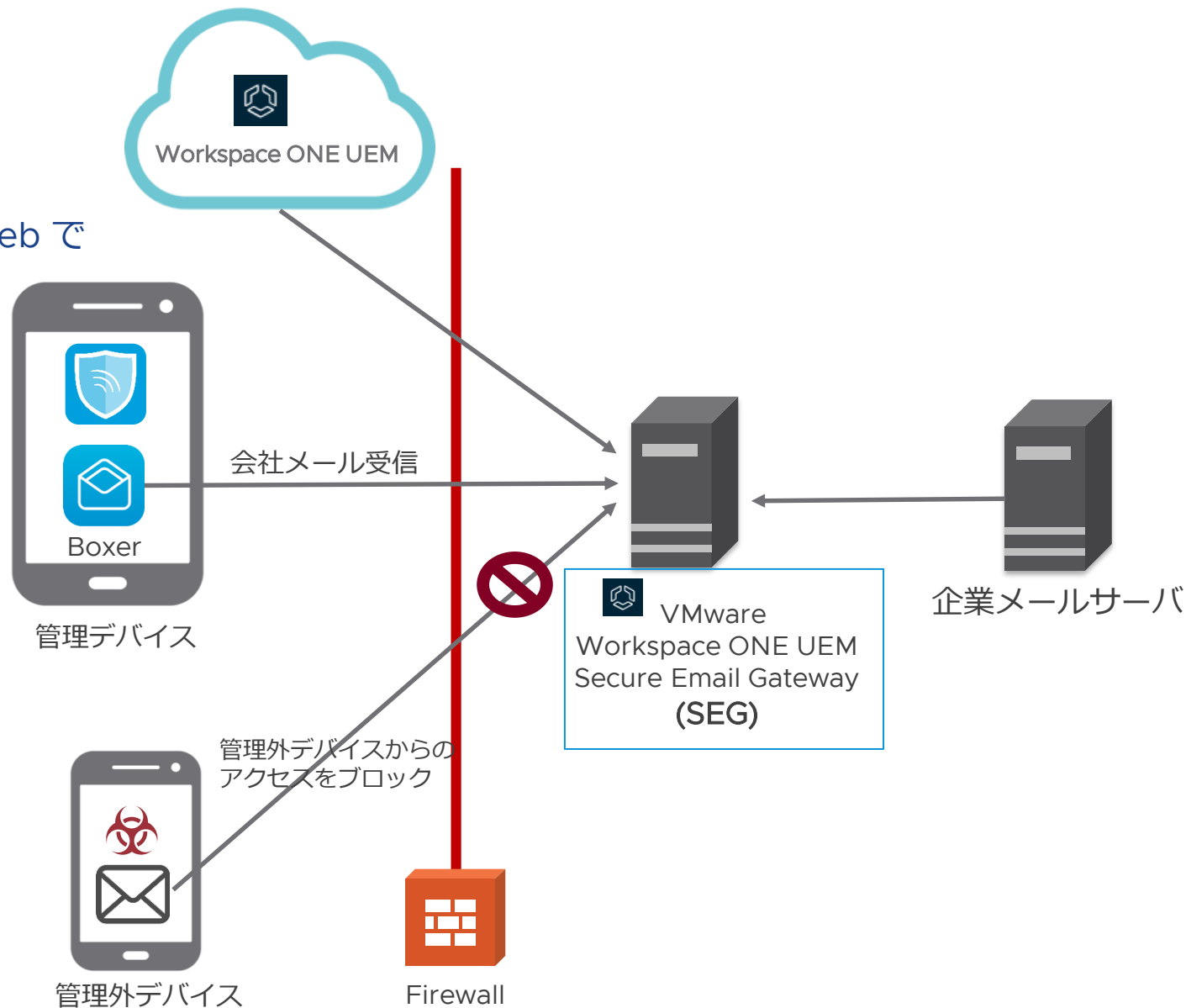
Boxer から**個人アプリへのコピー & ペースト**を禁止します



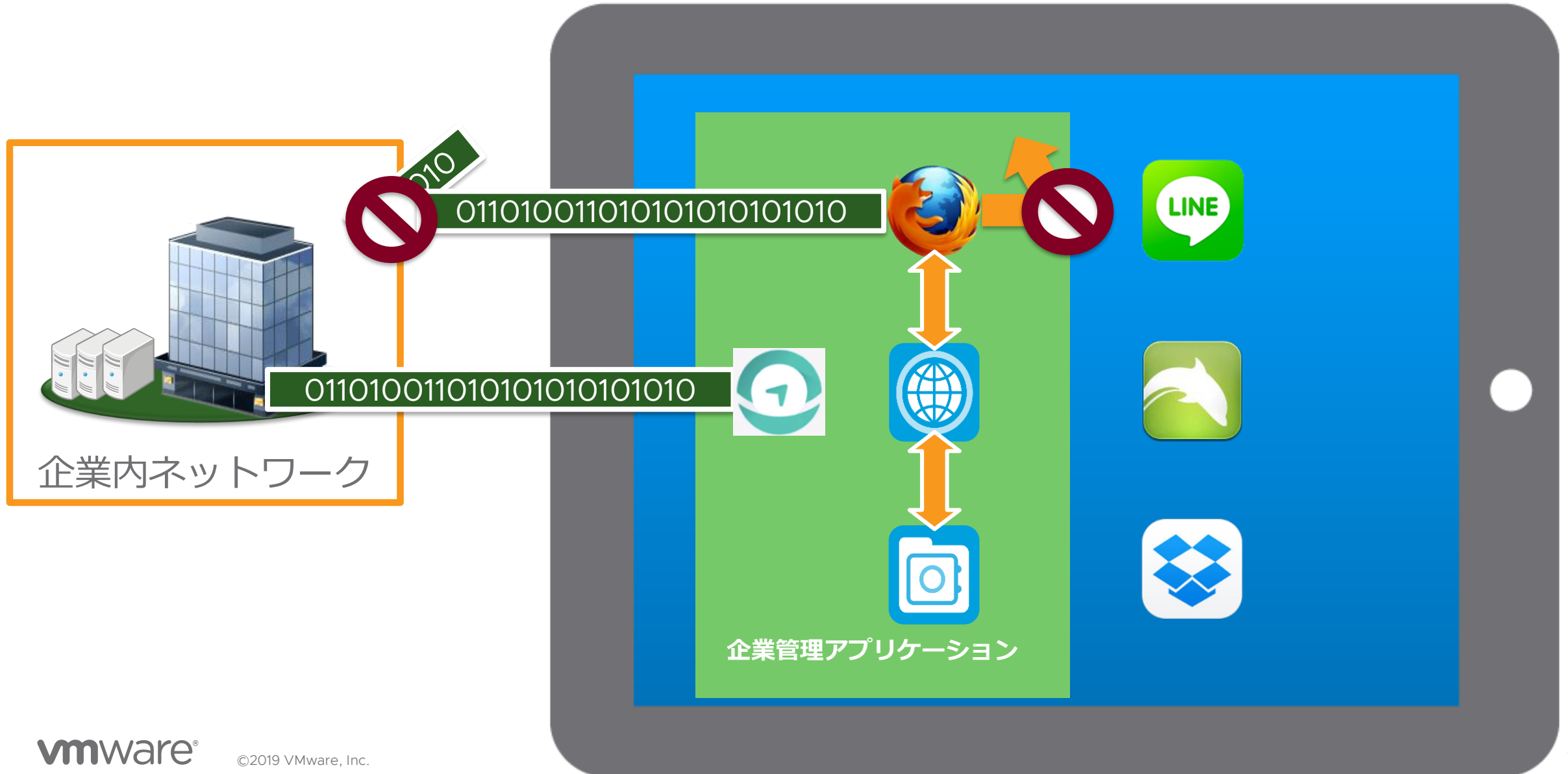
VMware Boxer と SEG によるメール情報漏洩対策

10 の情報漏洩対策

- ①メール本文を他アプリへのコピー抑止(Boxer)
- ②ハイパーリンクを VMware Workspace ONE® Web でアクセス(Boxer)
- ③添付ファイルを他アプリへの転送抑止(Boxer)
- ④個人アカウントの追加制限(Boxer)
- ⑤Boxer 起動時のパスコード設定(Boxer)
- ⑥侵害時の自動ワイプ(Boxer)
- ⑦オフライン時の利用制限(Boxer)
- ⑧管理デバイス以外のメール受信抑止(SEG)
- ⑨許可添付ファイル形式の設定(SEG)
- ⑩メール、カレンダー、連絡先の同期制限(SEG)

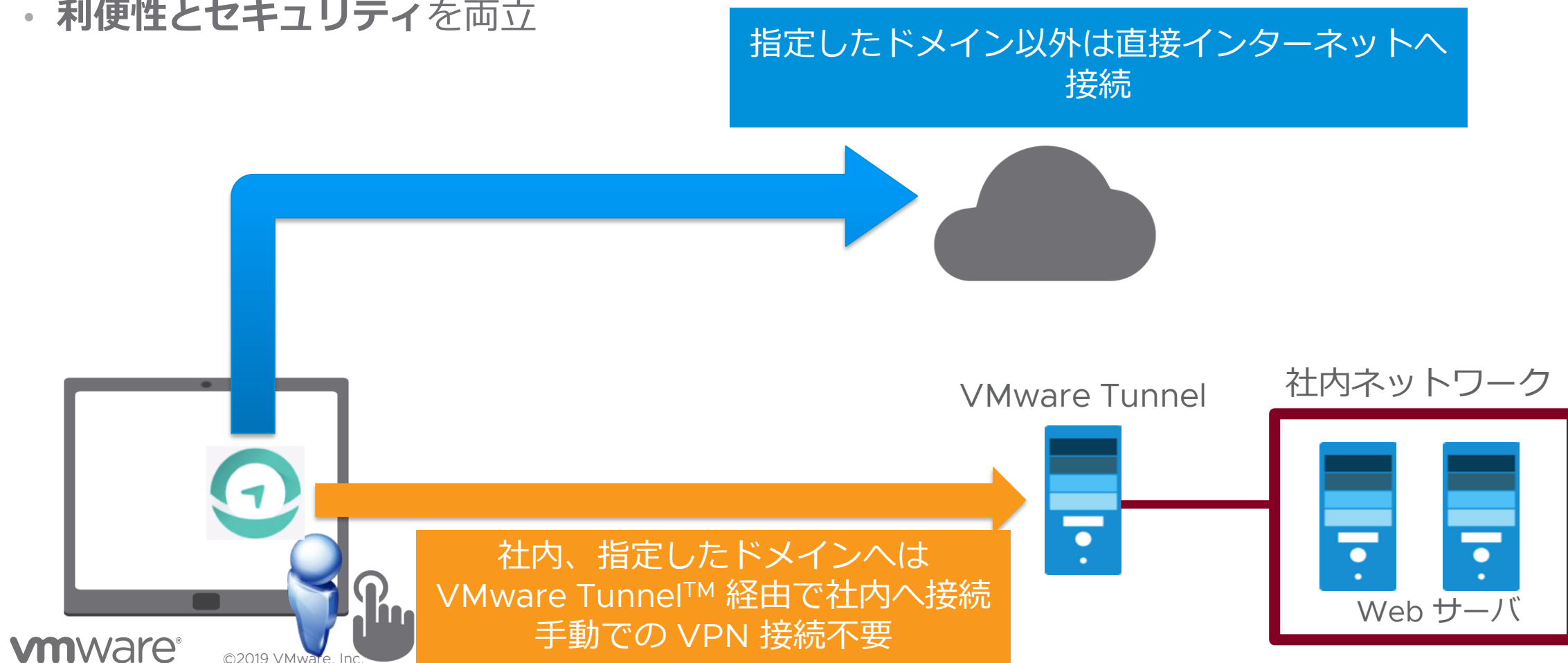


安全なリモートアクセス：アプリケーション単位の VPN



Workspace ONE Web と VMware Tunnel

- VMware Tunnel を利用することでエンドユーザーは**意識することなく**社内へ接続が可能
- **クライアント証明書認証**によるセキュアなアクセス
- **利便性とセキュリティ**を両立



Agenda

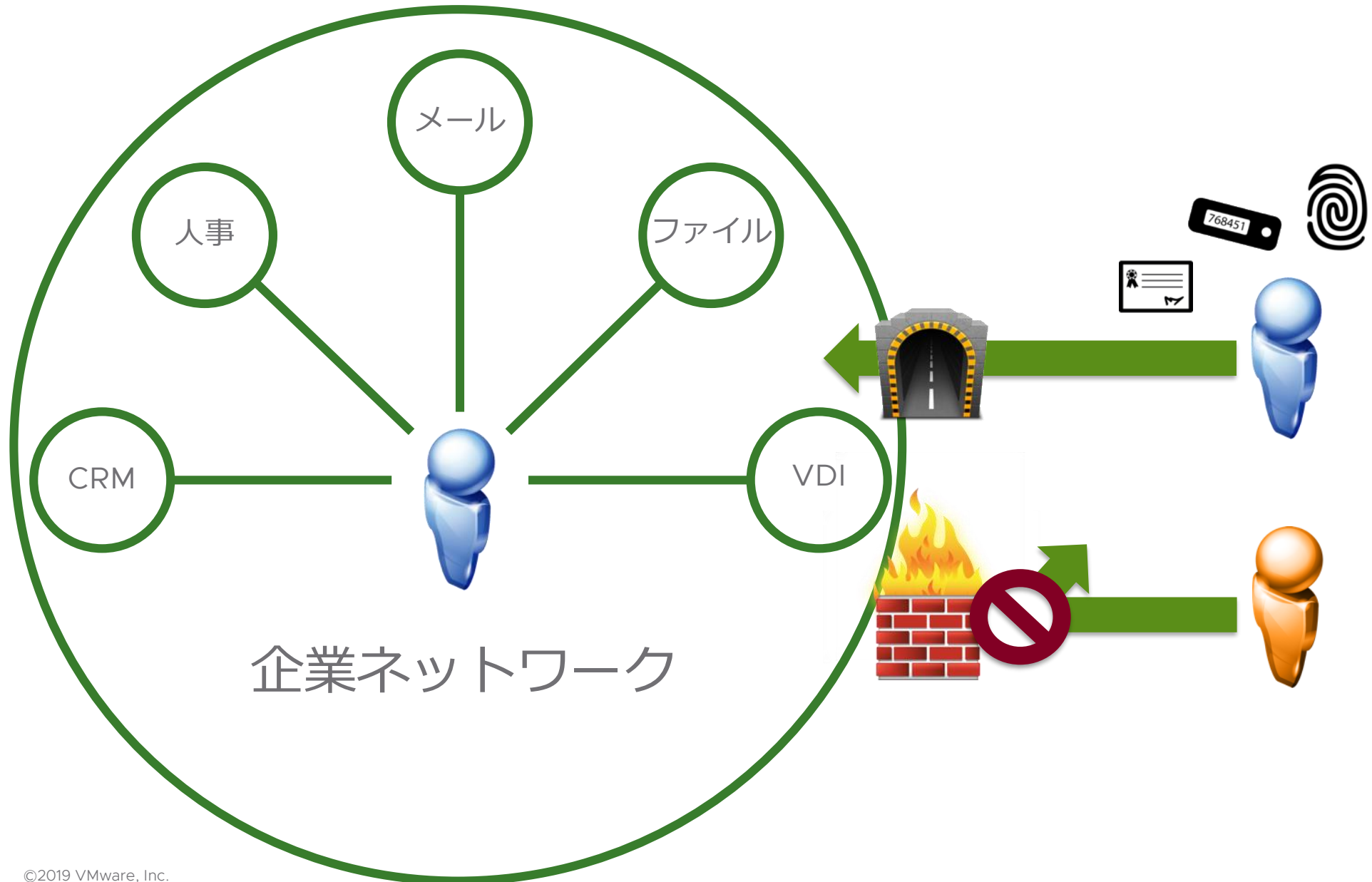
IT セキュリティと利便性

デバイスのセキュリティはどう守る？

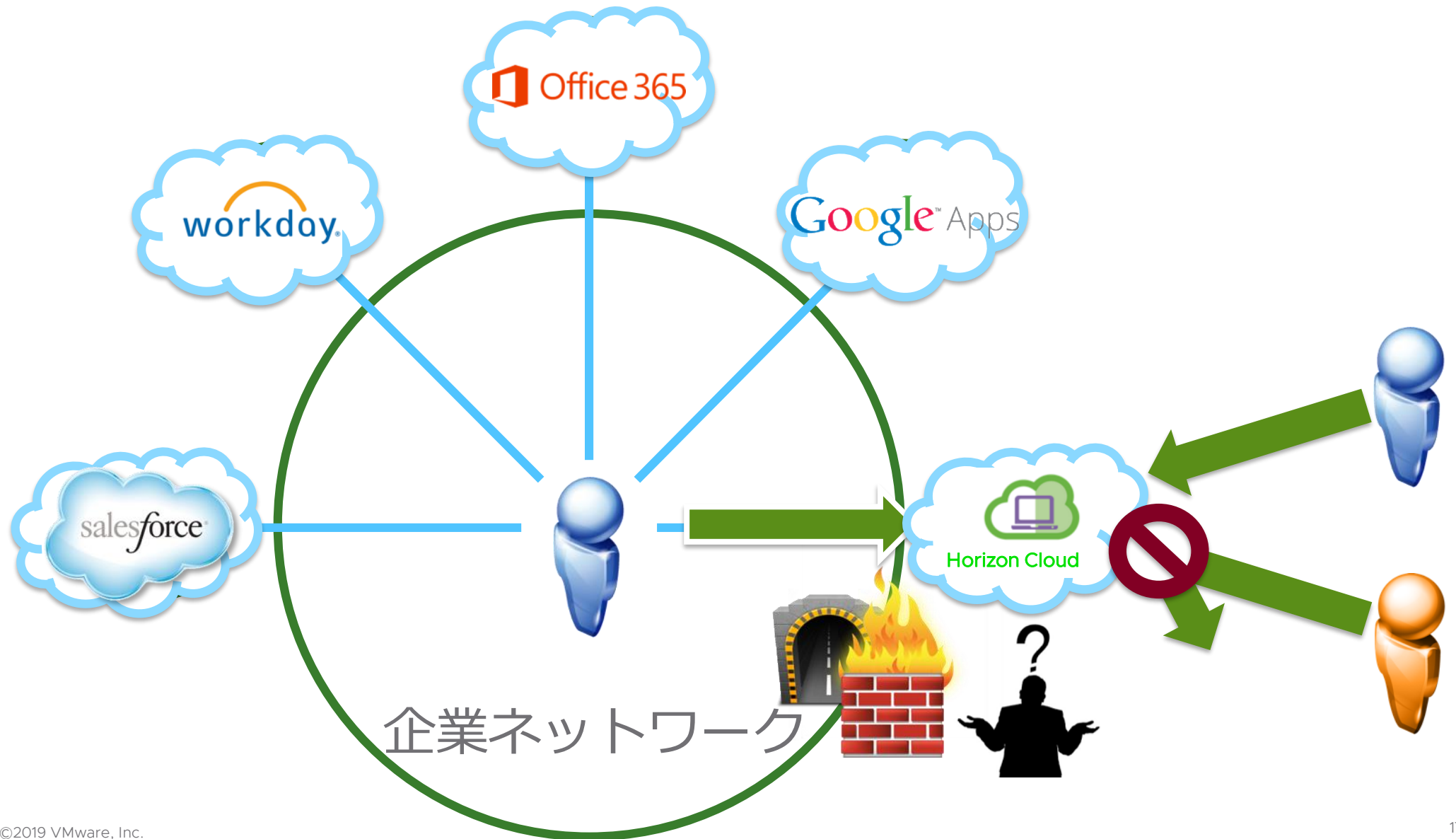
クラウド時代のセキュリティ対策

最後に

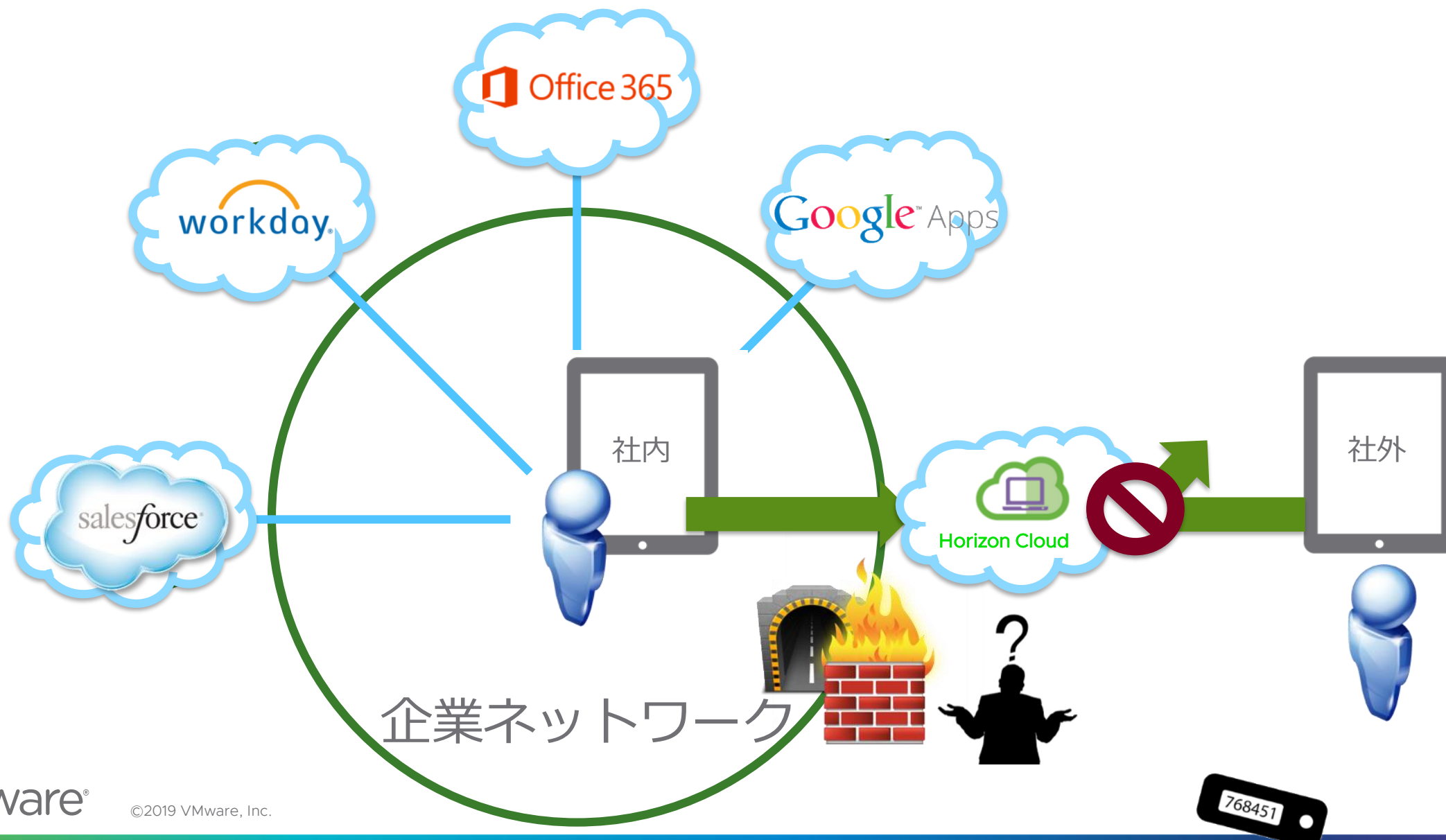
システムへの安全なアクセス = ファイアウォールと VPN



Cloud 時代には・・・どうすれば実現できる？



Cloud 時代には・・・認証の入り口で防御



Workspace ONE 遵守ポリシー機能

配布されたポリシーが守られていない時は、自動的に措置を取ることが可能な機能

①デバイスの状態を報告



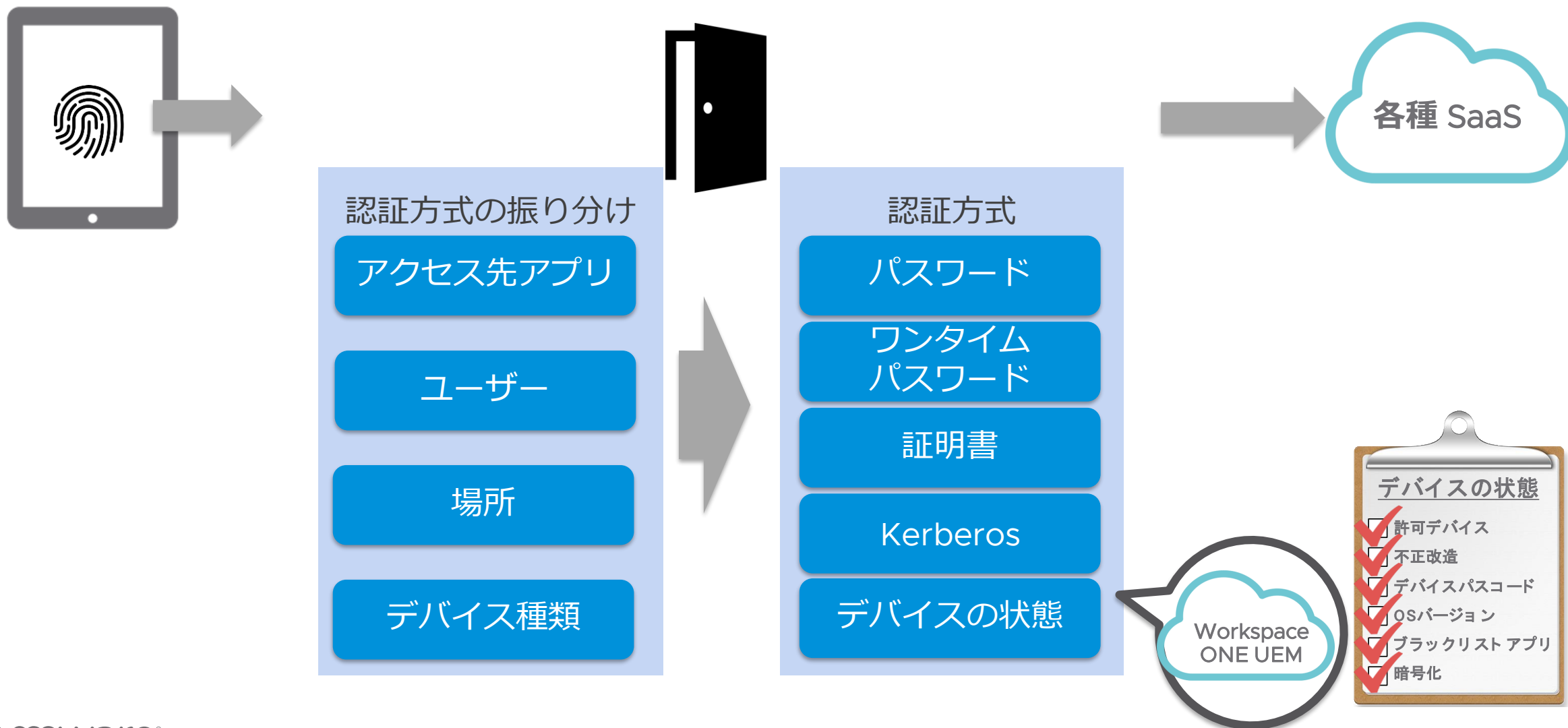
②IT の設定したポリシーを
順守しているかチェック
(例)

- 不正改造
- デバイスパスコード
- OS バージョン
- ブラックリストアプリ
- 暗号化

③対応するアクションを実行
(例)

- 通知
- 業務アプリのブロック
- 業務データのワイプ

Workspace ONE で実現するコンディショナルアクセス



Agenda

IT セキュリティと利便性

デバイスのセキュリティはどう守る？

クラウド時代のセキュリティ対策

最後に



Desktop



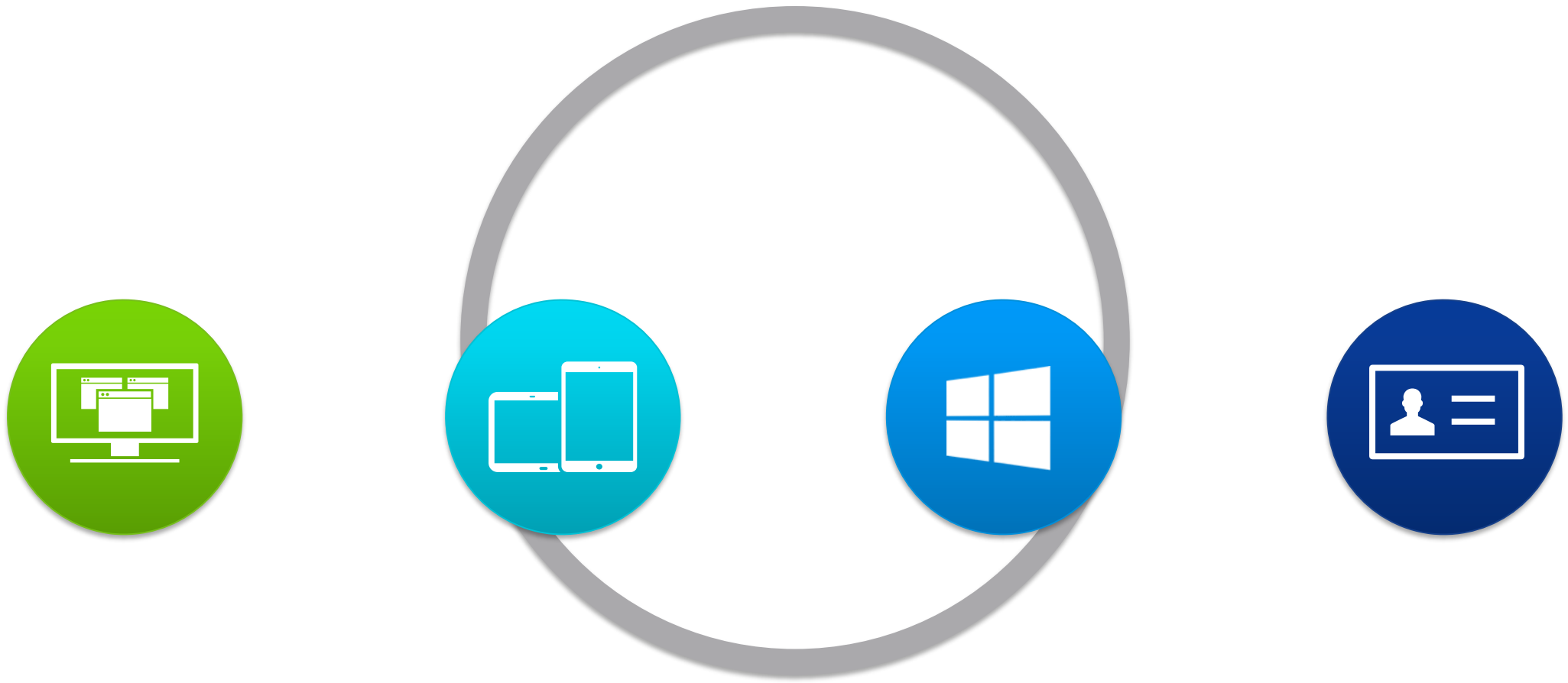
Mobile



Windows
Apps



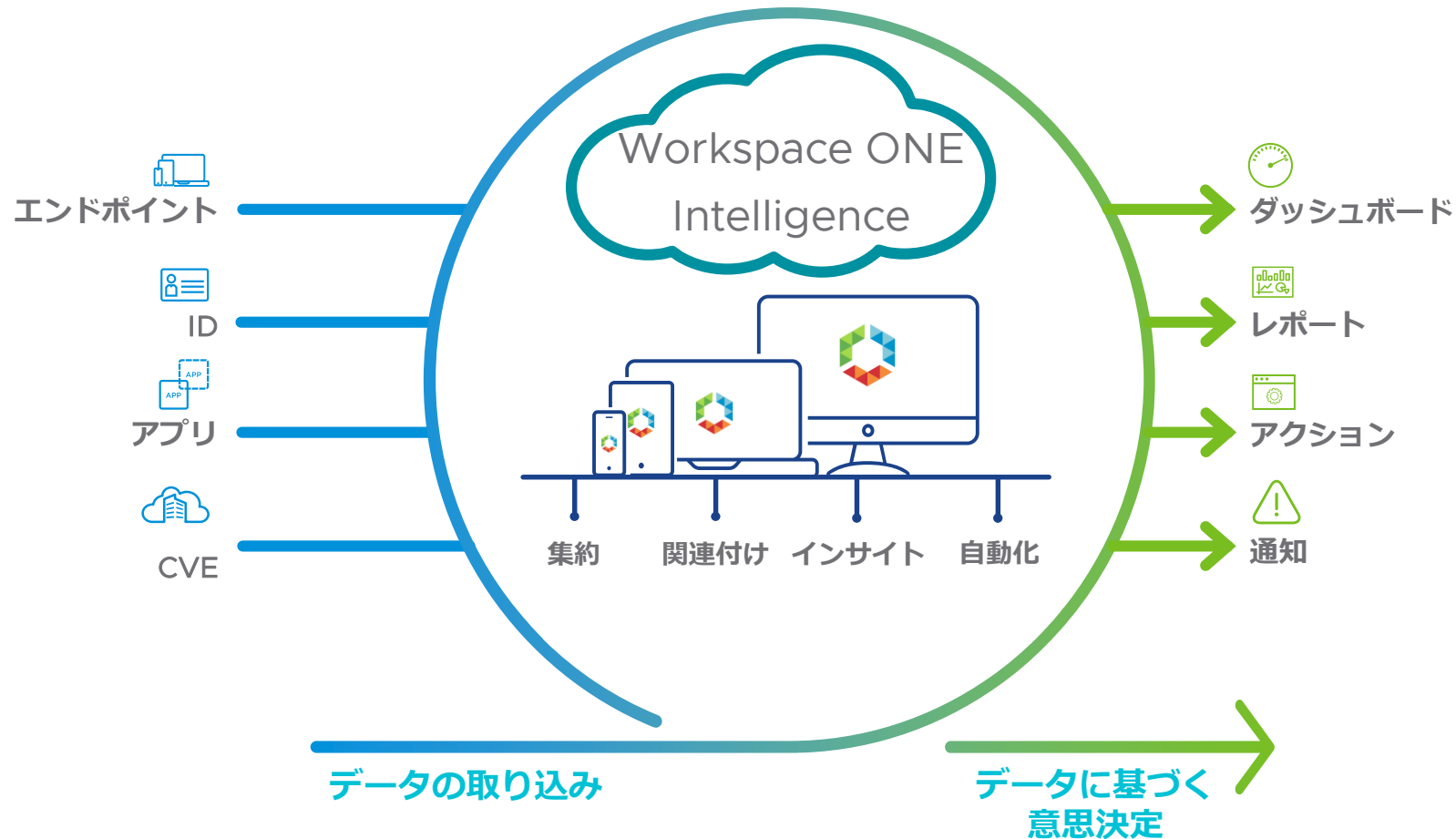
Identity



高い自由度 | セキュリティ | 生産性

Digital Workspace の情報漏洩対策 ～ 今後の展望 ① ～

Workspace ONE Intelligence による可視化と自動化



統合化されたインサイト：
デジタルワークスペース全体を可視化することで、環境全体でデータに基づく意思決定が可能



アプリケーションの分析：
組織全体でアプリケーションの開発と展開を最適化することで、迅速な問題の解決、エスカレーションの削減、ユーザーの使用環境の向上を実現



強力なオートメーション：
プロセスの自動化により、環境全体に対してゼロトラストセキュリティの適用を実現。コンプライアンス要件への対応や従業員の生産性向上を可能

Digital Workspace の情報漏洩対策 ～ 今後の展望 ② ～

Trust Networkパートナー各社との協業

Threat feed
integrations
aggregated into
Intelligence

Automated response
& remediation to
security events

Leverage existing
security investments



Carbon Black.



詳細は・・・以下のセッションにて

Day1 16:20～ DW194 / Day2 12:00～ DW176

クラウド時代の新常識！ゼロ・トラストセキュリティを Workspace ONE で実現するには!?



Thank You